

■「効果の見える治水事業」

うてな
台海岸 津波高潮危機管理対策緊急事業
『愛媛県今治市大三島町 平成 22 年度完成』

愛媛県東予地方局今治土木事務所長 今井 良計



■事業の概要

台（うてな）海岸は、瀬戸内海のほぼ中央に位置する大三島の西岸、瀬戸内しまなみ海道大三島ICから車で約20分の場所に位置し、島内で一番広い白い砂浜を有する美しい海岸です。海岸延長は1,948mでその背後地には、高校、役場、浄化センター等の公共施設が立地しており、唯一の生活道路であり避難路でもある主要地方道大三島環状線が通っています。

当海岸においては樋門・護岸が整備されていますが、樋門が昭和30年代、護岸が昭和40年代に整備されたものであることから、樋門ゲートの閉鎖不良や護岸の老朽化等、施設の機能低下が見られるため、南海地震等に伴う津波や台風による高波等の発生時には背後施設に多大な被害が発生する恐れがあるため、かねてから地元要望の高い海岸でした。

このため、護岸破堤防止対策やゲート巻上機の電動化等の機能向上対策を実施し、平成22年度の事業完了により、背後地の安全度の向上を図ることができました。

なお、本海岸の近傍にはマーレグラシア大三島（公営の温浴施設）、伯方塩業の大三島工場（見学可）などがあり、少し足を伸ばせば、武具の国宝重文の約4割を納める大山祇神社など観光スポットがたくさんありますので、海水浴をかねて訪れていただきたい海岸です。



事業概要
樋門改修N=1式
護岸破堤防止L=322m
平成19～22年度



樋門改修

護岸破堤防止



着手前



完成



樋門改修N=1式
護岸破堤防止L=322m

樋門

老朽化状況

愛郷無限 —故郷を愛するまちづくり—



今治市長 菅 良二

今治市は、愛媛県の北東部、瀬戸内海のほぼ中央部に突出した高縄半島の東半分を占める陸地部と芸予諸島の南半分島の島しょ部からなり、緑豊かな山間地域を背景に、中心市街地の位置する平野部から世界有数の多島美を誇る美しい海岸まで、変化に富んだ地勢となっております。平成17年1月に12市町村という大きな枠組みでの新設合併を果たし、人口規模約17万人の県下第2の市となっております。

台海岸のある大三島は、今治市北端の広島県境に位置し、国宝・重文を多く有する大山祇神社をはじめとする「歴史ロマンの島」として県内外の多くの方に訪れていただいております。近年は「芸術の島」としての活動を行っており、今年夏には「母と子」という心温まるテーマを中心に彫刻作品を集めた「岩田健 母と子のミュージアム」、また世界的に活躍されております建築家・伊東豊雄氏の作品を展示する「伊東豊雄建築ミュージアム」がオープンしました。既に開館しております「大三島美術館」、世界各国の現代彫刻作品を集め建物から望めるすべてがアートといえる「ところミュージアム大三島」、日本を代表する書道家の作品を集めた「村上三島記念館」、これらいずれの施設からも瀬戸内の光と風を感じながらゆっくりと鑑賞していただけます。

台海岸周辺には豊かな自然、海水浴場やキャンプ場があり、夏場は多くの家族連れで賑わっております。今回の事業が完成したことにより、周辺住民の安全性が向上するとともに、美しい自然・海岸空間が守られることとなりました。

私自身、誰よりも故郷を愛することで、人と人、親と子、古代と現代、人と自然、伝統と芸術、さまざまに結ばれた絆を大切に、幅広く皆さんに愛されるまちづくりを進めてまいりたいと考えております。



シルバーハット



ところミュージアム



岩田内観



台海岸海水浴場